

逍遙点描

—— 絵と文・中嶋嶺雄 ——



文化大革命下の広州

最近の中国では、雷鋒や王杰といった文革期の人民英雄が再び賞讃されている。天安門事件の悲劇を体験した中国にとっては、今日の社会的混迷からしても、文革期のような高揚が望まれるのかもしれない。しかし、歴史は二度とくりかえさないであろうし、中国民衆は過去に学んで十分に醒めていると私は考えている。

このスケッチは1966年11月、文革開幕直後に初めて訪中したとき、広州のホテルからのものであるが、「毛沢東思想万岁」のスローガンが描かれていて、一つの時代の証明にはなりそうである。

(東京外国語大学教授)

ASIA MONTHLY

東亞

1990

4

No. 274

ベトナム難民シンドローム 香港の体験

可児弘明

新連載<中国現代史の証言>

胡風冤罪事件(上)

康濯
訳・吉田富夫

講演記録

戒厳令解除後の中国

岡部達味



KAZANKAI